

1学年 道徳 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 道徳教育の目標

基本的な生活習慣、社会生活上のきまりの身につけ、善悪を判断し、人間としてしてはならないこと等、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を育てる。

◆ 評価について

- (1) 道徳的に望ましい感じ方、考え方や行為に対して、逆に、道徳的に望ましくない感じ方、考え方や行為に対して、児童がどのような感情をもっているか把握する。
 (2) 道徳的諸価値についてどのようにとらえているか、また、道徳的な判断を下す必要がある問題場面に直面した際に、児童がどのようにしこうし判断するかなどを把握する。
 (3) 学校や家庭での生活の中で、道徳的によりよく生きようとする意志の表れや行動への構えが、どれだけ芽生え、また定着しつつあるか等を把握する。
 (4) 特に基本的な生活習慣をどの程度身に付け実践できているかを把握する。

◆ 評価の方法

観察や会話・作文やノートなどの記述・質問紙・面接・各種テスト

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習内容	学習のポイント
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ たのしいがっこう ○ おてつだい ○ じゅぎょうがはじまります ○ いつでもどこでも ○ パムのあとかたduke ○ わたしはもんしろちよう ○ きいろいベンチ ○ がんばれホイッ ○ ごとりんごろんころろろ ○ いなりやまのこんたろう ○ うちのきんぎょ ○ かぼちゃのつる ○ がっこうのようむしゅじさん ○ おつきさんがみている ○ うみがめのあかちゃん ○ よりみち ○ およげないりすさん ○ ぼくにまかせてね ○ おかあさんのつくったぼうし ○ はしのうえのおおかみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や上級生、友だちに親しみ、学校生活を楽しくもうとする気持ちを育てる。 ・進んで家のお手伝いをして、家族の役に立とうとする心情を養う。 ・約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にす。 ・気持ちのいいあいさつをすすんでしようとする気持ちを育てる。 ・ものをたいせつにし、身の回りをととのえ、規則正しい生活をしようとする。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする態度を養う。 ・約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にす。 ・やらなければならないことはしっかり行おうとする態度を養う。 ・幼い人や高齢者に温かい心で接し新設にする。 ・気持ちのいいあいさつをすすんでしようとする気持ちを育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする態度を養う。 ・健康や安全に気を付け、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 ・日ごろ世話になっている人々に感謝する。 ・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。 ・生きることを喜び生命をたいせつにする心をもつ。 ・よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行く。 ・友脱と仲良くし、助け合う。 ・働くことのよさを感じて、みんなのために働く。 ・家族を大事にシテ、役に立つ喜びを知る。 ・幼い人や高齢者に温かい心で接し新設にする。
後 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ たけとんぼづくり ○ ひつじかいのいたずら ○ すてきがいっぱい ○ 二わのことり ○ みみずくとおつきさま ○ ぼくにできること ○ ひのようじん ○ いただきます ○ ひかったおほしさま ○ ランドセルは十二さい ○ きんいろのクレヨン ○ がんばれポポ ○ あかちゃんがうまれるよ ○ 二ねんせいになっても 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ世話になっている人々に感謝する。 ・正直誠実に、素直にせいかつする。 ・郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。 ・友脱と仲良くし、助け合う。 ・よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行く。 ・幼い人や高齢者に温かい心で接し新設にする。 ・郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。 ・生きることを喜び生命をたいせつにする心をもつ。 ・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。 ・健康や安全に気を付け、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 ・正直誠実に、素直にせいかつする。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行く。 ・生きることを喜び生命をたいせつにする心をもつ。 ・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学校生活を楽しくする。